

療法士がスポーツの現場で勝負するには？ スポーツに必要な股関節機能とその引き出し方

「無難」から「進化」へ！ 日常臨床からスポーツの現場へ！

講師

岡元 祐樹 先生

理学療法士 / JARTA認定スポーツトレーナー / JARTA認定講師
JRA(日本競馬協会)公式サポートメンバー

スポーツの現場をフィールドとする療法士にとって、**結果を出し続けること**は必然です。しかしそれは非常に難しいことで、ある面では臨床を凌ぐプレッシャーをはねのける知識と技術が要求されます。それぞれの競技への深い洞察に加え、**解剖学、生理学、運動学**はもちろん、**物理学**や**生物学**などかなり幅広い知識を総動員し、問題解決にあたります。

今回、理学療法士でスポーツトレーナーの岡元祐樹先生をお招きし、**スポーツに必要な股関節機能と、その引き出し方**についてご講義いただきます。

知識と技術の点と点、結ばれた先に描かれるのはクライアントのパフォーマンスの向上です。

結果にこだわるスポーツの現場で働く療法士(トレーナー)の生の声に触れてみてください。

医学+αの新たな視界が開けること請合いです。

一方、股関節障害は**臨床の場面でも頻繁に遭遇するありふれた課題**です。ありふれているからこそ無視されがちな課題とも言えます。障害された股関節機能をどう取り戻すか。つまりこのテーマは、臨床でもスポーツでも共通の課題なのです。本セミナーは、**スポーツの現場に興味のある療法士みなさま**はもちろん、**股関節障害の治療に携わるスポーツの現場以外(臨床)で活動する療法士のみなさま**にとって価値ある内容です。奮ってご参加ください。

PROGRAM

対象:PT / OT

「一流選手が言葉にできない股関節の機能(サッカー編)」

「力強いシュートを打つための股関節機能と指導」などのスポーツにフォーカスした治療・指導の考え方

「大転子の疼痛を胸椎から治す思考」「足趾の痺れはこうやって取る！」「肩関節のための肩甲骨の使い方の基礎」

など、解剖学・生理学・運動学を連鎖系として捉える治療の考え方

これらのテーマをもとに、解剖学・運動学・物理学・動作分析について考えます。

ケーススタディー(運動連鎖・身体つながりを考慮した問題解決の思考トレーニング)

(動画を交えたケーススタディーを通して評価・知識・考察・治療を展開します)

質疑応答

日時

10月22日(日) 10:00~16:00(9:30受付開始) 受講料 13,000 円(税込)

八洲学園大学 7階7A教室 神奈川県横浜市西区桜木町7丁目42

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク リハビリ 検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>

